

## 保育所等 項目別評価コメント

(利用者は子ども・保護者と読み替えて下さい)

標準項目  整備や実行が記録等で確認できる。  確認できない。

評価項目	標準項目
1 理念や基本方針が明文化されている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 理念・基本方針が法人・保育所等の内部文書や広告媒体（パンフレット、ホームページ等）に記載されている。</li> <li>■ 理念・基本方針から、法人、保育所等が実施する教育及び保育の内容や法人、保育所等の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。</li> <li>■ 理念・基本方針には、児童福祉法や保育所保育指針の保育所等・教育及び保育に関する基本原則が盛り込まれている。</li> </ul>
<p>(評価コメント)</p> <p>理念や基本方針が事業計画や重要事項説明書、園のパンフレット、ホームページに明示され、保護者への周知されている。理念に基づき「子どものあるがままを受容し、本物に触れる」保育方針が実践されており、具体的な行動指針として有効に機能していることがうかがえる。また、子ども自身を発達の主体とする考えを掲げ、遊びを通じた学びを大切にしている教育観も明確で、保育に対する基本的な理念の実践に取り組んでいる。理念と実践の一貫性を持つことが、利用者や保護者への安心感と信頼感の醸成につながっている。</p>	
2 理念や基本方針が職員に周知・理解されている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 理念・方針を事業所内の誰もが見やすい箇所に掲示し、職員配布文書に記載している。</li> <li>■ 理念・方針を会議や研修において取り上げ職員と話し合い共有化を図っている。</li> <li>■ 理念・方針の実践を日常の会議等で話し合い実行面の反省をしている。</li> </ul>
<p>(評価コメント)</p> <p>理念や基本方針を職員に周知するため、ハンドブックや重要事項説明書を用い、変更点の説明も含めて丁寧に対応している。また、園内研修を通じて理念や方針を職員間での共通理解を深める取り組みを行っている。会議や日常のクラス会議で理念や方針に立ち返り、保育の質向上につなげている。特に「理念に基づいて行事や保育の方向性を話し合う風土づくり」が進んでいることで、子どもたちに対する一貫した保育が提供される基盤となっている。</p>	
3 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 契約時等に理念・方針が理解しやすい資料を作成し、分かりやすい説明をしている。</li> <li>■ 理念・方針を保護者に実践面について説明し、話し合いをしている。</li> <li>■ 理念・方針の実践面を広報誌や手紙、日常会話などで日常的に伝えている。</li> </ul>
<p>(評価コメント)</p> <p>園見学や入園説明会、懇談会などで理念や基本方針、保育の特色について丁寧に説明を行い、保護者に対して周知を図っている。また、懇談会や保育参観の場を活用し、保育の実践を直接見てもらう機会を設け、利用者の理解を深めている。保護者アンケート結果からも、多彩な教育活動や専門性を活かした取り組みが保護者に好意的に受け止められていることが確認できる。さらに、「SEIKAの窓」や行事新聞、ホームページを通じて理念や保育方針を発信し続ける取り組みも、情報の透明性と信頼感の向上に寄与している。</p>	
4 事業計画が適切に策定され、計画達成のため組織的に取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 中・長期事業計画を踏まえて策定された事業計画が作成されている。</li> <li>■ 事業計画が具体的に設定され実施状況の評価が行える配慮がなされている。</li> <li>■ 理念・基本方針により重要課題が明確にされている。</li> <li>■ 事業環境の分析から重要課題が明確にされている。</li> <li>■ 現状の反省から重要課題が明確にされている。</li> <li>■ 運営の透明性の確保に取り組んでいる。</li> </ul>
<p>(評価コメント)</p> <p>法人理念や保育目標を基盤とし、重要課題を年度ごとに具体化して事業計画を策定する仕組みが整っている。また、企画会議において前年度の反省や職員の意見を取り入れながら計画を練り直している姿勢は、柔軟で実効性のある運営につながっている。特に今年度の計画では、畑活動に代わる食育や園外活動の充実を目指し、新たな取り組みを計画に盛り込んでおり、積極的な改善意識がうかがえる。一方で、事業計画と実施状況の評価の結びつきが十分ではない点については改善の余地があると言える。全体会議での周知が行われているものの、職員が計画達成に向けた進捗を共有できる仕組みの構築が今後の課題と思われる。</p>	
5 事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが話し合う仕組みがある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 各計画の策定に当たっては、現場の状況を把握し、職員等の参画や意見の集約・反映のもとに策定されている。</li> <li>■ 方針や計画、課題は会議や研修会等にて説明し、全職員に周知されている。</li> <li>■ 年度終了時はもとより、年度途中にあっても、あらかじめ定められた時期、手順に基づいて事業計画の実施状況の把握、評価を行っている。</li> </ul>
<p>(評価コメント)</p> <p>職員と幹部職員が話し合う仕組みとして、クラス会議や行事会議を定期的に行い、役職者が必ず参加して職員の意見を取り入れる体制が整っている。また、行事や園の自己評価を活用して振り返りを行っている。さらに、遠足の内容変更時には、決定事項だけでなく、その過程や根拠を丁寧に職員に共有し、職員全員が理解を深めた上で実行に移すなどの取り組みに努めている。</p>	

6	理念の実現や質の向上、職員の働き甲斐等に取り組み指導力を発揮している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■理念・方針の実践面の確認等を行い、課題を把握し、改善のための具体的な方針を明示して指導力を発揮している。</li> <li>■職員の意見を尊重し、自主的な創意・工夫が生まれやすい職場づくりをしている。</li> <li>■研修等により知識・技術の向上を図り、職員の意欲や自信を育てている。</li> <li>■職場の人間関係が良好か把握し、必要に応じて助言・教育を行っている。</li> <li>■評価が公平に出来るように工夫をしている。</li> </ul>
<p>(評価コメント)</p> <p>職員一人ひとりが理念の実現を実感できるよう、行事や保育において意見交換やアイデアの採用を積極的に行い、やりがいや達成感を共有できる環境を整えている。行事において安全性を含めた議論を重ね、毎年新たな工夫を取り入れている姿勢は、職員の意欲向上につながる取り組みとして評価できる。また、法人や園内での研修、対話の時間、外部研修の参加を通じて、職員が継続的に学び成長できる環境づくりに取り組んでいる。研修の成果を園全体で共有し、保育の質向上に結びつけている。さらに、公平な評価を目指して役職者が話し合いを行い、人間関係を含めた人材育成に取り組み、人員の定着や働き甲斐の向上を目指している。</p>		
7	全職員が遵守すべき法令や倫理を明示し周知している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■遵守すべき法令や倫理を文書化し、職員に配布されている。</li> <li>■全職員を対象とした、法令遵守と倫理に関する研修を実施し、周知を図っている。</li> <li>■プライバシー保護の考え方を職員に周知を図っている。</li> </ul>
<p>(評価コメント)</p> <p>法令や倫理の遵守について、新人研修での説明や法人ハンドブックの配付と読み合わせを通じて全職員に周知し、理解を促している。毎年の読み合わせを実施し、職員間で相互に指摘し合える環境づくりに努め、遵守意識の向上だけでなく、チームとしての信頼関係の構築につなげている。また、児童福祉法や保育所保育指針に基づく教育をキャリアアップ指針と結びつけて実施している点も、実践的で効果的な取り組みといえる。さらに、法令遵守に関する動画研修や危機管理研修を定期的に全職員が受ける仕組みを整え、職場全体の意識向上を目指している。</p>		
8	人事方針を策定し、人事を計画的・組織的に行い、職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■人材確保・定着・育成の方針と計画を立て実行している。</li> <li>■職務の権限規定等を作成し、職員の役割と権限を明確にしている。</li> <li>■評価基準や評価方法を職員に明示し、評価の客観性や透明性の確保が図られている。</li> <li>■評価の結果について、職員に対して説明責任を果たしている。</li> </ul>
<p>(評価コメント)</p> <p>各職員が評価表を活用し、自身の育成段階が明確に理解できる仕組みが整えられている。また、人材育成計画において、入職年数を基に役割が明確化され、自己評価、他者評価、面談を通じて個々の成長を支援する仕組みが機能している。面談を基に個人の目標を具体化し、その達成に向けた取り組みは、職員のモチベーション向上と育成につながっている。さらに、個別の能力に応じた研修計画と、その成果を共有する場を設け、職員一人ひとりの成長を促している。</p>		
9	事業所の就業関係の改善課題について、職員（委託業者を含む）などの現場の意見を幹部職員が把握し改善している。また、福利厚生に積極的に取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■担当者や担当部署等を設置し職員の有給休暇の消化率や時間外労働のデータを、定期的にチェックしている。</li> <li>■把握した問題点に対して、人材や人員体制に関する具体的な改善計画を立て実行している。</li> <li>■職員が相談をしやすいような組織内の工夫をしている。</li> <li>■職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生事業を実施している。</li> <li>■育児休暇やリフレッシュ休暇等の取得、ワーク・ライフ・バランスに配慮した取り組みを行っている。</li> </ul>
<p>(評価コメント)</p> <p>職員の有給休暇取得率が高く（昨年95%達成）、公平に取得できる体制が整っている。また、業務効率化に向けた取り組みとして、コドモンを活用した事務作業の効率化やシフト表による仕事内容の明確化、行事ツールのリサイクルによる負担軽減が実施されている。日常のコミュニケーションを通じて現場の意見を把握し、迅速に対応し、職員の働きやすさを目指している。さらに、育児休暇利用者への柔軟な働き方の選択肢の提供や、職員の歯科健診、ヨガ、フラサークルの実施といった福利厚生の充実は、職員満足度を高め、離職率の低さにもつながっている。</p>		
10	職員の教育・研修に関する基本方針が明示され、研修計画を立て人材育成に取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■中長期の人材育成計画がある。</li> <li>■職種別、役割別に能力基準を明示している。</li> <li>■研修計画を立て実施し、必要に応じて見直ししている。</li> <li>■個別育成計画・目標を明確にしている。</li> <li>■OJTの仕組みを明確にしている。</li> </ul>
<p>(評価コメント)</p> <p>職員の教育・研修に関する基本方針が評価表や人材育成研修計画に明示されており、職務別の能力基準を基に、園長や主任とともに振り返りや課題設定を行い、目標を明確化している。また、研修計画が個々の職員の育成状況を考慮して策定されており、研修後の報告を活用して園内でスキルを共有する取り組みは、全体の能力向上に効果的である。OJTを通じた現場での学びや、リーダー研修や新人研修といった園内研修の実施も、チームでの指導体制の強化と人材育成につながっている。</p>		

11	全職員を対象とした権利擁護に関する研修を行い、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■子供の尊重や基本的人権への配慮について勉強会・研修を実施している。</li> <li>■日常の援助では、個人の意思を尊重している。</li> <li>■職員の言動、放任、虐待、無視など行われることの無いように、職員が相互に振り返り組織的に対策を立て対応している。</li> <li>■虐待被害にあった子どもがいる場合には、関係機関と連携しながら対応する体制を整えている。</li> </ul>
<p>(評価コメント)</p> <p>毎年の権利擁護研修の実施や、虐待防止および子どもの意思を尊重する関わり方について職員全体で学ぶ体制が整っている。また、千葉県保育士懇談会での事例を共有し、職員間で話し合いの場を設けることで具体的な事例から学べる環境を提供している。研修内容のまとめを休憩室に掲示する工夫や、ハンドブックを活用した虐待対応基準の自己チェックが定期的に行われている点は、権利擁護への意識向上につながっている。重要事項説明書に児童虐待の報告義務について明記するなどの子どもの権利擁護への整備にも努めている。一方で、職員が子どもに寄り添った支援を行えるよう事例を取り上げて議論し、記録に残す実務的な対応がなされている。</p>		
12	個人情報保護に関する規定を公表し徹底を図っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■個人情報の保護に関する方針をホームページ、パンフレットに掲載し、また事業所等内に掲示し実行している。</li> <li>■個人情報の利用目的を明示している。</li> <li>■利用者等の求めに応じて、サービス提供記録を開示することを明示している。</li> <li>■職員（実習生、ボランティア含む）に研修等により周知徹底している。</li> </ul>
<p>(評価コメント)</p> <p>個人情報保護に関する方針を重要事項説明書に明記し、入園説明会や保護者会で利用目的とともに説明を行い、同意書をコドモンアンケートで取得している。また、職員に対しては入職時に秘密情報保持誓約書を交わし、ハンドブックを用いた研修を通じて個人情報の重要性の周知を図っている。さらに、実習生には、マニュアルに基づくオリエンテーションを実施し、情報取り扱いの注意点を徹底している。写真利用についても年初に一括同意を得るだけでなく、その都度該当保護者の同意を確認し、個人情報保護の徹底に努めている。</p>		
13	利用者満足度の向上を意図した仕組みを整備し、取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■利用者満足度を把握し改善する仕組みがある。</li> <li>■把握した問題点の改善策を立て迅速に実行している。</li> <li>■利用者・家族が要望・苦情が言いやすい雰囲気を作っている。</li> <li>■利用者等又はその家族との相談の場所及び相談対応日の記録がある。</li> </ul>
<p>(評価コメント)</p> <p>保護者が要望や苦情を伝えやすい雰囲気作りを努め、意見を受けた際には感謝の気持ちを持ち、誠意ある対応を行うことに努めている。日常的な関わりを通じて保護者の声を拾い上げ、変化に気づけるよう職員が努め、保護者満足度向上につながるようにしている。また、個人面談や行事後のアンケート、連絡帳を活用し、要望や意見を把握する仕組みが整備されており、その後の対応や改善の実施について保護者へ掲示し、透明性と信頼感につながるよう配慮している。面談時に直接要望を確認し、内容を児童票に記録することがルール化されており、保護者との信頼関係構築を目指している。</p>		
14	苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■保護者に交付する文書に、相談、苦情等対応窓口及び担当者が明記され説明し周知徹底を図っている。</li> <li>■相談、苦情等対応に関するマニュアル等がある。</li> <li>■相談、苦情等対応に関する記録があり、問題点の改善を組織的に実行している。</li> <li>■保護者に対して苦情解決内容を説明し納得を得ている。</li> </ul>
<p>(評価コメント)</p> <p>苦情対応窓口および担当者を重要事項説明書や園内掲示で明示し、入園説明会や保護者会で伝えることで周知を図り、利用者が安心して意見を伝えられる環境づくりにつなげている。また、苦情解決取り扱い規定に基づく体制が整備されており、相談や苦情に対する手引きを用いた研修も実施している。苦情や要望を記録する専用紙が用意され、解決プロセスが職員間で共有される仕組みがあることで、迅速かつ適切な対応を可能とする環境になっている。さらに、会議の場で苦情や要望について周知する仕組みを設け、問題意識の共有と改善に努めている。</p>		
15	教育及び保育内容について、自己評価を行い課題発見し改善に努め、教育及び保育の質の向上を図っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■教育及び保育の質について自己評価を定期的に行う体制を整備し実施している。</li> <li>■教育及び保育の質向上計画を立て実行し、PDCAサイクルを継続して実施し恒常的な取り組みとして機能している。</li> <li>■自己評価や第三者評価の結果を公表し、保護者や地域に対して社会的責任を果たしている。</li> </ul>
<p>(評価コメント)</p> <p>日常の対話や保育日誌を活用した振り返りが行われ、保育の評価と反省が記録されている。また、月案や年間カリキュラムを通じてPDCAサイクルを徹底し、行事や食育、保健指導においても同様のプロセスが適用されるよう配慮している。さらに、会議においてドキュメンテーションを活用し、保育の質の向上に努めている。個々の評価表に振り返り欄を設け、自己評価を行うだけでなく、園長、主任との話し合いの機会を設け、客観的な視点を取り入れた改善につながる実効性を目指している。</p>		

16	提供する教育及び保育の標準的実施方法のマニュアル等を作成し、また日常の改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■業務の基本や手順が明確になっている。</li> <li>■分からないときや新人育成など必要に応じてマニュアルを活用している。</li> <li>■マニュアル見直しを定期的実施している。</li> <li>■マニュアル作成は職員の参画のもとに行われている。</li> </ul>
<p>(評価コメント)</p> <p>法人ハンドブックに業務の基本や手順が明記され、新人育成や業務遂行において活用することを目指している。また、シフト別の業務内容が具体的に記載されており、職員が迷った際や新人職員でもスムーズに業務に適應できる仕組みを整えている。職員の意見や気づきを反映し、業務内容の見直しを随時行い、マニュアルに反映させ、柔軟性と実効性を兼ね備えた運用に努めている。ただし、ハンドブックや年間予定表に見直しの記録が記載されていない点は課題であり、改善の記録を明示することでさらなる透明性が期待される。新人研修や園内研修において、ハンドブックの活用方法を伝える取り組みも、職員全体の業務理解を深めている。</p>		
17	保育所等利用に関する問合せや見学に対応している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■問合せ及び見学に対応できることについて、パンフレット、ホームページ等に明記している。</li> <li>■問合せ又は見学に対応し、利用者のニーズに応じた説明をしている。</li> </ul>
<p>(評価コメント)</p> <p>園の利用に関する問い合わせや見学対応において、利用者に配慮した取り組みが行われている。園や市のホームページ、パンフレットに問い合わせや見学の案内が明記されており、情報提供が分かりやすく整備されている。電話やホームページでの問い合わせにも丁寧に対応し、保護者の都合に合わせて柔軟に見学日を設定している。見学時には、園長や主任が直接案内し、パンフレットを活用しながら理念や保育目標、特色をわかりやすく説明しており、利用者の不安を和らげる工夫がなされている。また、見学時の質問に対して的確に回答し、入園後も説明内容との相違がないよう努めている。</p>		
18	教育及び保育の開始に当たり、教育及び保育方針や内容等を利用者に説明し、同意を得ている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■教育及び保育の開始にあたり、理念に基づく教育及び保育方針や内容及び基本的ルール等を説明している。</li> <li>■説明や資料は保護者に分かりやすいように工夫している。</li> <li>■説明内容について、保護者の同意を得るようにしている。</li> <li>■教育及び保育の内容に関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している。</li> </ul>
<p>(評価コメント)</p> <p>保育の開始時に、保護者が内容を十分に理解し安心できるよう、丁寧な説明と配慮を行っている。入園説明会では、重要事項説明書を活用し、内容を分かりやすく説明しているほか、子どもたちの日常の様子を撮影した動画を使い、保護者が具体的なイメージを持てるよう工夫している。説明時には具体例や想定も提示し、保護者の理解を深めるよう努めている。また、説明会後に個別面談を実施し、保護者の意向を丁寧に確認して記録化し、同意書を取得している。さらに、入園時には保護者の不安に寄り添い、子どもの様子を連絡帳や申し送りで細かく共有している。</p>		
19	保育所等の理念や教育及び保育方針・目標に基づき全体的な計画が適切に編成されている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■全体的な計画は児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとらえて作成している。</li> <li>■全体的な計画は、教育及び保育の理念、方針、目標及び発達過程などが組み込まれて作成されている。</li> <li>■子どもの背景にある家庭や地域の実態を考慮して作成されている。</li> <li>■施設長の責任の下に全職員が参画し、共通理解に立って、協力体制の下に作成されている。</li> </ul>
<p>(評価コメント)</p> <p>園では、保育所保育指針を基に全体的な計画を作成しており、理念や保育方針、保育目標が適切に反映されている。計画には子どもの発達過程を考慮し、年齢や個々の成長に応じた内容が含まれているほか、子どもの家庭環境や地域の実態にも十分配慮されている。職員全員が計画を共通理解するため、クラスごとの会議に計画書を持参し、内容を共有する仕組みが整備されている。また、計画の質を向上させるため、職員間で何度も研修を重ね、事例を共有し、具体的な方針を検討している。さらに、年度初めの保育参観では計画を保護者に説明するため、職員が事前に計画の読み合わせと話し合いを行うことで、保護者との連携を深めている。</p>		
20	全体的な計画に基づき具体的な指導計画が適切に設定され、実践を振り返り改善に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■全体的な計画に基づき、子どもの生活や発達を見通した長期的な指導計画と短期的な指導計画が作成されている。</li> <li>■乳児、1歳以上3歳未満児、障害児等特別配慮が必要な子どもに対しては、個別計画が作成されている。</li> <li>■発達過程を見通して、生活の連続性、季節の変化を考慮し、子どもの実態に即した具体的なねらいや内容が位置づけられている。</li> <li>■ねらいを達成するための適切な環境が構成されている。</li> <li>■指導計画の実践を振り返り改善に努めている。</li> </ul>
<p>(評価コメント)</p> <p>全体的な計画に基づき、年間、月間、週間指導計画を適切に作成し、計画的な保育が実施されている。0、1、2歳児に対しては、個別計画を作成し、個々の発達ペースに応じた目標を設定しており、職員間で関わり方を共有することで、きめ細やかな保育を行っている。遊びや発達の過程を大切に、できたかどうかの結果に捉われない保育姿勢が特徴的である。また、特別な配慮が必要な子どもには、訪問支援や療育機関、市の心理士や作業療法士と連携しながら、職員が一体となって支援を行っている。さらに、指導計画の実践後には振り返りを行い、改善点を共有することで保育の質向上に努めている。</p>		

21	子どもが主体的に活動できる環境が整備されている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■子どもが安心感と信頼感をもって活動できるよう、子どもの主体としての思いや願いを受け止めている。</li> <li>■子どもの発達段階に即した玩具や遊具などが用意されている。</li> <li>■子どもが自由に素材や用具などを自分で取り出して遊べるように工夫されている。</li> <li>■好きな遊びができる場所が用意されている。</li> <li>■子どもが自由に遊べる時間が確保されている。</li> <li>■教育及び保育者は、子どもが主体性を発揮できるような働きかけをしている。</li> </ul>
<p>(評価コメント)</p> <p>園では、子どもが主体的に活動できる環境の整備に力を入れている。クラスごとにコーナー遊びを充実させ、子どもが自由に遊びを選べるよう、十分な遊びの空間を確保すると共に、落ち着けるコーナーを設けるなど、環境構成が工夫されている。また、遊びが交錯しないよう日々環境の見直しを行い、子どもが集中して遊べる場を提供している。玩具や用具は、子どもが自ら選んで取りやすい高さや配置に工夫が凝らされており、絵本は表紙が見えるように並べることで子どもの興味を引きやすくしている。さらに、幼児クラスでは遊びの継続性を重視し、作品コーナーを設置して途中作品を保管する仕組みを整えている。この取り組みにより、翌日の遊びへの期待が高まり、主体的な活動が促進されている。</p>		
22	身近な自然や地域社会と関われるような取組みがなされている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■子どもが自然物や動植物に接する機会を作り、教育及び保育に活用している。</li> <li>■散歩や行事などで地域の人達に接する機会をつくっている。</li> <li>■地域の公共機関を利用するなど、社会体験が得られる機会をつくっている。</li> <li>■季節や時期、子どもの興味を考慮して、生活に変化や潤いを与える工夫を日常教育及び保育の中に取り入れている。</li> </ul>
<p>(評価コメント)</p> <p>園では、身近な自然や地域社会との関わりを大切にし、子ども達が多様な体験を得られる工夫がなされている。地域に残る四季折々の自然環境や園庭の生態系を活用し、植物や虫に触れる機会を提供しており、虫眼鏡や図鑑を使った観察活動を通じて自然への興味を育てている。また、近隣の小学校や高齢者施設との交流会を通じて、地域の方々との触れ合いを通じた社会性の育成が図られている。さらに、遠足では電車を利用し、公共施設での活動を通じて子どもたちに社会体験の場を提供している。季節や子どもの興味に応じた活動にも力を入れており、例えば虫に興味がある時期には子どもたちと虫マップを作成するなど、日常生活に変化と潤いを与える取り組みが行われている。</p>		
23	遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■子ども同士の関係をより良くするような適切な言葉かけをしている。</li> <li>■けんかやトラブルが発生した場合、危険のないように注意しながら、子供達同士で解決するように援助している。</li> <li>■順番を守るなど、社会的ルールを身につけていくように配慮している。</li> <li>■子どもが役割を果せるような取組みが行われている。</li> <li>■子どもが自発性を発揮し、友だちと協同して活動できるよう援助している。</li> <li>■異年齢の子どもとの交流が行われている。</li> </ul>
<p>(評価コメント)</p> <p>遊びや生活を通じて子ども達が豊かな人間関係を育むための工夫が随所に見られる。乳児期には子どものありのままの姿を受け止め、応答的な関わりを大切にし、幼児期には友だちと遊びを通じて人間関係の基礎を築けるよう支援している。また、子ども一人ひとりを尊重した言葉かけを行い、年齢に応じて社会のルールを実体験を通じて伝える取組みが行われている。トラブルが発生した際には、子どもの年齢や状況に応じた援助を行い、特に5歳児クラスでは子どもたち同士で解決できるよう促している。さらに、当番活動など役割を設け、自信や達成感を得られる機会を提供している。異年齢交流を積極的に設けることで、協力や思いやりの心が育つよう配慮している。</p>		
24	特別な配慮を必要とする子どもの教育及び保育	<ul style="list-style-type: none"> <li>■子ども同士の関わりに対して配慮している。</li> <li>■個別の指導計画に基づき、きめ細かい配慮と対応を行い記録している。</li> <li>■個別の指導計画に基づき、保育所等全体で、定期的に話し合う機会を設けている。</li> <li>■障害児教育及び保育に携わる者は、障害児教育及び保育に関する研修を受けている。</li> <li>■必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。</li> <li>■保護者に適切な情報を伝えるための取組みを行っている。</li> </ul>
<p>(評価コメント)</p> <p>特別な配慮を必要とする子どもに対し、きめ細かい配慮と対応が行われている。子ども同士の関わりを大切にし、不用意にクラスから離すことなく、遊びを通じて総合的に学べる環境が整えられている。個別の指導計画作成時には、役職者、担任、加配職員が話し合い、子どもの現状を的確に把握したうえで無理のない目標を設定している。また、実践の際には、医療機関や専門機関と連携しながら、指導を受け、実行と振り返りを繰り返すことで、保育の質の向上を図っている。関係職員は研修を受け、定期的な話し合いを通じて情報を共有し、適切な支援を実施している。さらに、保護者との定期的な面談を通じて、情報提供や相談を行い、連携を密にすることに取り組んでいる。</p>		

25	在園時間の異なる子どもに対して配慮がなされている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■引き継ぎは書面で行われ、必要に応じて保護者に説明されている。</li> <li>■担当職員の研修が行われている。</li> <li>■子どもが安心・安定して過ごせる適切な環境が整備されている。</li> <li>■年齢の異なる子どもと一緒に過ごすことに配慮している。</li> </ul>
<p>(評価コメント)</p> <p>在園時間の異なる子どもに対する配慮が適切に行われている。保護者からの伝達事項や園での1日の様子をタブレット内の申し送り表で記録し、延長職員を含む関係職員間で共有することで、情報伝達が円滑に行われている。また、延長保育を担当する職員にも職員同様の研修が実施されており、質の高い保育が提供されている。さらに、0歳から5歳までの子どもと一緒に過ごす時間に備え、安全面に配慮した環境設定や遊びの充実が図られている。玩具やコーナーの内容は、子どものその時々様子に応じて工夫されており、子どもが安心して過ごせる環境が整備されている。また、必要に応じて職員配置を柔軟に変更し、安全で適切な体制を維持できるよう取り組んでいる。</p>		
26	家庭及び関係機関との連携が十分図られている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、子どもの発達や育児などについて、個別面談、教育及び保育参観、参加、懇談会などの機会を定期的に設け、記録されている。</li> <li>■保護者からの相談に応じる体制を整え、相談内容が必要に応じて記録され上司に報告されている。</li> <li>■就学に向けて、保育所等の子どもと小学校の児童や職員同士の交流、情報共有や相互理解など小学校との積極的な連携を図るとともに、子どもの育ちを支えるため、保護者の了解のもと、認定こども園園児指導要録及び保育所児童保育要録などが保育所等から小学校へ送付している。</li> </ul>
<p>(評価コメント)</p> <p>園では、家庭や関係機関との連携が十分に図られており、子どもたちの成長を支える取り組みが行われている。日々のコミュニケーションを通じて家庭との情報交換を行い、子どもの様子を共有することで、家庭と園が一体となった支援が行われている。個別面談は定期的実施され、保護者の要望に応じた随時対応も行われており、その内容は記録に残されている。また、保育参観では普段の様子を動画で伝える工夫がされ、保護者が子どもの成長をより具体的に理解できる仕組みが整っている。さらに、クラスごとに年1回懇談会を実施し、保護者同士や職員との情報交換が活発に行われている。就学に向けては、小学校との見学や交流、連絡会議を通じて積極的に連携を図り、要録を送付することで子どもの小学校へのスムーズな移行に努めている。</p>		
27	子どもの健康状態、発育、発達状態が適切に把握し、健康増進に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■子どもの健康に関する保健計画を作成し、心身の健康状態や疾病等について把握・記録され、嘱託医等により定期的に健康診断を行っている。</li> <li>■保護者からの情報とともに、登所時及び教育・保育中を通じて子どもの健康状態を観察し、記録している。</li> <li>■職員に乳幼児突然死症候群（SIDS）に関する知識を周知し必要な取り組みを行い、保護者に対して必要な情報を提供している。</li> <li>■子どもの心身の状態を観察し、不適切な養育の兆候や、虐待が疑われる場合には、所長に報告し継続観察を行い記録している。</li> </ul>
<p>(評価コメント)</p> <p>園では、子どもの健康状態や発育・発達を適切に把握し、健康増進に努めるための体制が整えられている。保健計画を作成し、看護師と保育士が連携して保健指導を行い、手洗いや体の仕組みなど、子どもの発達や時期に応じた内容を計画的に実施している。これらの活動は、クラスごとに評価と反省を行い、改善を図っている。また、嘱託医による内科健診や歯科健診、看護師による毎月の身体測定を通じて、子どもの健康状態を継続的に記録し、疾病の早期把握に努めている。登園時には保護者からの情報や視診を通じて、日々の健康観察と記録を行い、健康管理の徹底を図っている。さらに、虐待が疑われる場合や心身の状態に懸念がある場合には、継続的な観察と記録を実施しており、子どもの安全を第一に考えた取り組みが行われている。</p>		
28	感染症、疾病等の対応は適切に行われている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■教育及び保育中に体調不良や傷害が発生した場合には、その子どもの状態等に応じて、保護者に連絡するとともに、適宜、嘱託医や子どものかかりつけ医等と相談し、適切な処置を行っている。</li> <li>■感染症やその他の疾病の発生予防に努め、その発生や疑いがある場合には、必要に応じて嘱託医、市町村、保健所等に連絡し、その指示に従うとともに、保護者や全職員に連絡し、協力を求めている。</li> <li>■子どもの感染・疾病等の事態に備え、医務室等の環境を整え、救急用の薬品、材料等を常備し、適切な管理の下に全職員が対応できるようにしている。</li> </ul>
<p>(評価コメント)</p> <p>園では、感染症や疾病への対応が適切に行われており、子どもの健康と安全を守る体制が整えられている。保育中に体調不良やケガが発生した場合、看護師や園長、主任に速やかに報告し、状況に応じて保護者への連絡や嘱託医への相談、受診を行い、適切な処置を実施している。また、感染症が発生した場合には、園内掲示で周知すると共に、市の保健サーベイランスに情報を共有し、発生予防に努めている。病児室には介護用ベッドを設置し、救急用品の管理は看護師が定期的に確認するなど、環境整備も徹底している。さらに、全職員が感染症対応のハンドブックを活用し、適切に対応できるよう備えている。</p>		

29	食育の推進に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■食育の計画を作成し、教育及び保育の計画に位置付けるとともに、その評価及び改善に努めている。</li> <li>■子どもが自らの感覚や体験を通して、自然の恵みとしての食材や調理する人への感謝の気持ちが育つように、子どもと調理員との関わりなどに配慮している。</li> <li>■体調不良、食物アレルギー、障害のある子どもなど、一人一人の子どもの心身の状態等に応じ、嘱託医、かかりつけ医等の指示や協力の下に適切に対応している。</li> <li>■食物アレルギー児に対して誤食防止や障害のある子どもの誤飲防止など細かい注意が行われている。</li> <li>■残さず食べることや、偏食を直そうと強制したりしないで、落ち着いて食事を楽しめるように工夫している。</li> </ul>
<p>(評価コメント)</p> <p>園では、「まいにち、みんなで、おいしいきゅうしょくをたべる」という目標を掲げ、食育の推進に取り組んでいる。食育計画が作成され、クラスごとに評価と反省が繰り返されることで、継続的な改善が図られている。また、給食室とのコミュニケーションを重視し、調理員と子どもたちが一緒に給食を食べる機会を設け、食材や調理への感謝の気持ちを育む取り組みが行われている。さらに、体調不良や食物アレルギー、配慮児への対応も適切であり、誤食や誤飲防止に細心の注意が払われている。幼児クラスでは、子どもが自分の食べられる量を伝えやすい雰囲気づくりがなされ、食事を楽しむことが重視されている。職員はハンドブックを活用し、研修を通して知識を共有することで、食育に関する取り組みの質を高めている。</p>		
30	環境及び衛生管理は適切に行われている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■施設の温度、湿度、換気、採光、音などの環境を常に適切な状態に保持するとともに、施設内外の設備及び用具等の衛生管理に努めている。</li> <li>■子ども及び職員が、手洗い等により清潔を保つようにするとともに、施設内外の保健的環境の維持及び向上に努めている。</li> <li>■室内外の整理、整頓がされ、子どもが快適に過ごせる環境が整っている。</li> </ul>
<p>(評価コメント)</p> <p>環境及び衛生管理が適切に行われており、子どもたちが快適で安全に過ごせる環境が整備されている。職員一人ひとりが年齢に応じた環境設定や衛生管理に努めるだけでなく、看護師や園長、主任がクラスを巡回し、環境衛生に関する指導を行う体制が整っている。夏季には熱中症予防のため、活動目安を基に温度管理やこまめな水分補給を徹底しており、子どもの健康を守る対策が取られている。園内の清掃や安全点検はチェックリストを活用し、計画的に実施されている。また、職員は手洗いを徹底し、子どもには手洗い指導を行い、衛生意識を育む取り組みが行われている。室内外の整理整頓にも留意し、玩具の置き場には写真を貼るなど、子どもたちが分かりやすく片付けやすい環境が提供されている。これらの取り組みにより、環境整備と衛生管理を徹底し、質の高い保育環境の実現に努めている。</p>		
31	事故発生時及び事故防止対策は適切に行われている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■事故発生時の対応マニュアルを整備し職員に徹底している。</li> <li>■事故発生原因を分析し事故防止対策を実施している。</li> <li>■設備や遊具等保育所等内外の安全点検に努め、安全対策のために職員の共通理解や体制づくりを図っている。</li> <li>■危険箇所の点検を実施するとともに、外部からの不審者等の対策が図られている。</li> </ul>
<p>(評価コメント)</p> <p>事故防止と発生時の対応において適切な対策が取られており、安全管理の徹底が図られている。事故対応マニュアルとして法人ハンドブックを活用し、毎年職員研修を行うことで全職員に周知徹底している。また、重大事故が発生しやすい睡眠時や食事、プール遊びに関しては、新人職員も含めた研修を実施し、必要な対策が講じられている。さらに、ヒヤリハット事例を活用し、会議で共有すると共に改善策を話し合い、再発防止に努めている。遊具や室内環境の定期点検を行い、安全性を確保しているほか、不審者対応訓練や施設管理の徹底により、外部からのリスクにも備えている。また、AEDの導入や救命講習を受け、全職員が救命処置を行える体制を整えている。これらの取り組みにより、事故防止と迅速な対応を目指した安全管理の実践に取り組んでいることがうかがえる。</p>		
32	地震・津波・火災等非常災害発生時の対策は適切に行われている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■地震・津波・火災等非常災害発生に備えて、役割分担や対応等マニュアルを整備し周知している。</li> <li>■定期的に避難訓練を実施している。</li> <li>■避難訓練は消防署や近隣住民、家庭との連携のもとに実施している。</li> <li>■立地条件から災害の影響を把握し、建物・設備類の必要な対策を講じている。</li> <li>■利用者及び職員の安否確認方法が決められ、全職員に周知されている。</li> </ul>
<p>(評価コメント)</p> <p>園では、地震・津波・火災などの非常災害に対する備えが十分に行われており、安全確保のための体制が整備されている。災害対応を記載したハンドブックを基に、職員がその内容を理解し暗記できるよう指導が行われているほか、会議で緊急プリーフィングを実施し、冷静な判断と適切な行動を促している。また、避難訓練は月に1回以上実施され、年に1度は消防署の立ち合いのもと基礎訓練を行い、専門的な指導を受けている。さらに、大規模災害を想定した訓練や緊急引き渡し表の準備により、迅速な対応を可能にしている。災害時には、複数の連絡アプリや電話を活用し、24時間以内に園に集合する取り決めが職員間で周知されるなど、非常災害時における安全の確保と迅速な対応に取り組んでいる。</p>		

33	地域ニーズを把握し、地域における子育て支援をしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地域の子育てニーズを把握している。</li> <li>■ 子育て家庭への保育所等機能を開放（施設及び設備の開放、体験保育等）し交流の場を提供し促進している。</li> <li>■ 子育て等に関する相談・助言や援助を実施している。</li> <li>■ 地域の子育て支援に関する情報を提供している。</li> <li>■ 子どもと地域の人々との交流を広げるための働きかけを行っている。</li> </ul>
<p>（評価コメント）</p> <p>園では、地域の子育て支援に力を入れ、地域ニーズを的確に把握し、それに応じた多様な取り組みを実施している。地域子育て支援センターとして、園庭やフロアの開放を行い、専門職との交流や育児相談の場を提供するなど、子育て家庭が利用しやすい環境を整備している。また、地域の子育て支援団体と協力し、会議や研修会を通じて情報発信を行い、地域全体で子育てを支える環境づくりに貢献している。少子化による利用者の減少にも柔軟に対応し、現在来園している子育て世代のニーズを把握し、それに応じた支援内容を提供する取り組みが行われている。</p>		